

研究課題 (テーマ)	知識の定着・深化を実現するデータサイエンス実験の構築		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	データサイエンス学科	教授	高野博史 (学生実験 WG)
研究結果の概要			
<p>本研究課題は、データサイエンス学科 2 年生および 3 年生を対象としたデータサイエンス実験を構築・評価するために実施した。データサイエンス実験 1 については、R6 年度に構築した実験システムを実施し、全学および学科独自に実施した授業アンケート結果をもとに教育効果を検証した。データサイエンス実験 2 については、実践デザイン思考の授業とリンクした実験システムを構築するために実験 WG を設置し、実験課題や実施方法について検討した。本年度の成果を以下に示す。</p> <p>【データサイエンス実験 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> • R6 年度までに構築した実験システムにより実施し、概ね支障なく遂行できた。 • 全学および学科独自に実施したアンケート結果に基づき、学生の理解度や満足度など、授業改善に資するデータを収集した。理解度は高い水準を示したが、一方で満足度はやや低い傾向が見られた。 <p>【データサイエンス実験 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> • デザイン思考の手法を実問題に応用するための実験テーマを選定した。 • 実験全体のスケジュールや実施方法、成績評価方法などを決定した。 • 各実験テーマで必要となる機材を検討し、機種の選定を行った。また、実験全体の運用方法を踏まえて、実験機材を必要数そろえた。 <p>なお、データサイエンス実験 2 の実験テーマ選定にあたっては、富山県デジタル化情報室および立山科学グループの協力を得て実施した。</p>			
今後の展開			
<p>データサイエンス実験 1 については、アンケート結果の分析により満足度が低い傾向にあることが確認されたため、実験課題の分量について見直しを行う。</p> <p>データサイエンス実験 2 については、実施状況を踏まえて問題点を整理し、今後の改善につなげるとともに、新たな実験テーマの必要性についても検討する。</p>			